

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和3年2月4日（木）15時35分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階 1F会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
木原管理官補佐、大塚特殊施設分析官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室
担当者 3名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉安全・品質室
担当者 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー 汚染水対策プログラム部
担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー プール燃料取り出しプログラム部
担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー 燃料デブリ取り出しプログラム部
担当者 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー 敷地全般管理・対応プログラム部
担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

原子力設備管理部

担当者 2名（テレビ会議システムによる出席）

原子力安全・統括部

担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、2021年度上半期に予定している福島第一原子力発電所内での工事・作業のうち、事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業の整理状況と工事・作業の概要について、資料に基づき説明があった。
- 原子力規制庁は、工事・作業の抽出、リスト化にあたって、個別の工事・作業がどのように事故分析に影響を与えると判断したのかを整理するよう指摘した。

6. 資料

- 事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のあ

る工事・作業リスト

以上